

面談！ 「長期研修の実施状況」—その1

北海道漁業就業支援協議会

令和2年08月03日

令和2年度の第1回目の研修生の面談では、初山別村を訪れました。

今年の5月1日から新規に研修を開始した研修生からお話を聞くことが出来ました。面談には、留萌地区水産技術普及指導所に参加していただきました。

1回目面談実施：R2年07月22日(初山別村)

項目 地区	研修生 出身地 年齢	研修 種類	漁業種類	期 間	備 考
北るもい漁協	齋藤浩之 千葉県 31歳	独立	たこ函、へら曳き	R.2.05/01～ R5.04/30	自己開発

初山別村での3カ年の地域協力隊員の経験の後、引き続き地元で漁業就業を目指すという今までに無い事例となっています。地域との合意形成もしっかりとなされており、フェア参加を経ないでマッチング～研修へ進んだ「自己開発」として注目されます。

・元々、一次産業をやりたいくて、自分の気持ちが合う水産を選ぶこととした。

・地元(初山別村)とは、協力隊員時の係わりが大きく、周りが親身になってくれた。

・研修は、概ね満足している。ICTを取り入れた漁業を目指したい。

・特に困っていることはないが、まだ、結婚する相手がない。

